



瀬谷小だより

10月号

令和2年9月30日
横浜市立瀬谷小学校

心に残るセヤリンピックを！

校長 倉岡 ナオミ

ようやく暑さも和らぎ、朝夕の虫の声に秋を感じる頃となりました。コロナについてはまだまだ予断を許さない状況ですが、少しずつ日常が戻ってきたように感じています。学校では17日のセヤリンピックに向けての活動が進み、活気が出てきています。セヤリンピックは瀬谷小学校の運動会のことです。学校行事の中でも大きなもので、何とか実現させたいと考えていました。それは、単に走力等の発表の場というだけでなく、瀬谷小学校の教育活動として大きな意味を持つものだからです。一つ目はバディ活動です。バディのリーダー学年が演技を考えてペアに教え、一緒に踊ります。そこでは相手にどんなふうに伝えたらいいか、悩み、考える中で、コミュニケーション力を育てるとともに、相手への思いやりや活動の達成感、自己有用感を得ることになります。下学年はバディとの協力の仕方や学び方を身に付けます。二つ目はプロジェクト活動です。担当したプロジェクトをいかに充実させ盛り上げるか、知恵を出し合い、自分たちで考えたことを実現させていきます。そこで得た協力することの大切さや、一つのことをみんなで作り上げる楽しさ、大変さ、達成感は他の活動でも生きて働く力となることでしょう。三つ目に、今年は瀬谷小学校創立130周年の記念すべき年です。コロナに負けず、全校で揃いのTシャツを着て心と力を合わせて心に残るセヤリンピックを作り上げたいと考えています。ぜひ、御理解いただきたいと思います。

保護者の方々にもぜひ応援していただきたく、準備をしていますが、今までとは形を変えざるを得ません。プログラムを制限し、午前開催とします。残念ながら、ご来賓の参観はご遠慮願ひ、来賓や敬老のテントをなくして、空間を取った児童席の確保をします。保護者の参観には制限をかけませんが、児童席後方等の限られたスペースでの参観となりますのでご承知おきください。多数の参観者で不安のある方は、来校をご遠慮ください。必ず健康観察をしていただき、マスクの着用や手洗いの励行をお願いいたします。また、できるだけ、ご自分のお子さんのプログラムのみの参観をお願いいたします。当然、密になることは避けられませんが、健康な児童、職員、保護者のみが参加し、マスク、手洗い等の感染防止を行うということで感染を避けたいと考えております。いろいろお考えはあろうかと思いますが、御理解いただき、皆様の御協力で、子どもたちにとって、安全で楽しく思い出に残るものにしたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

